

令和2年度
第4回校内実践発表会

令和2年10月19日

国語科実践発表

～言葉に着目した子どもの「問い」で
授業をつくる～

秋田大学教育文化学部附属小学校

鎌田 雅子

2年次研究の成果と課題

成果

- ・領域や文種の違いによる学びの系統性を子ども自身が意識できる授業の有効性。
- ・1単位時間の国語科の学習の流れを見通していること
によって、省察の精度が上がる。

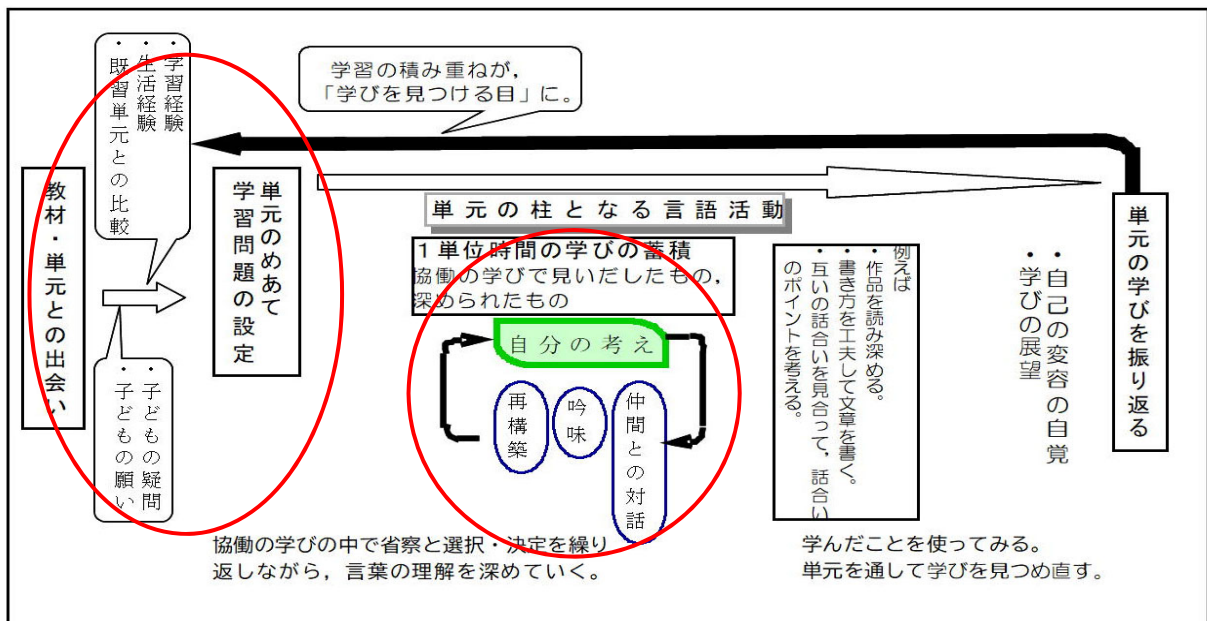
課題

- ・協働的な学びを活性化する問いを子ども自身が発する
ための手立て。

令和2年度 国語科 研究の重点

- (1) 言葉に関する「問い」を基に選択・決定し，追究し続ける単元構成の工夫
- (2) よりよい言葉の認識や表現につながる，言葉と言葉を結び付けて行う省察の工夫

～国語科 自律した学習者を育てる学習のプロセス～



1 主体的な学びを支える「問い」

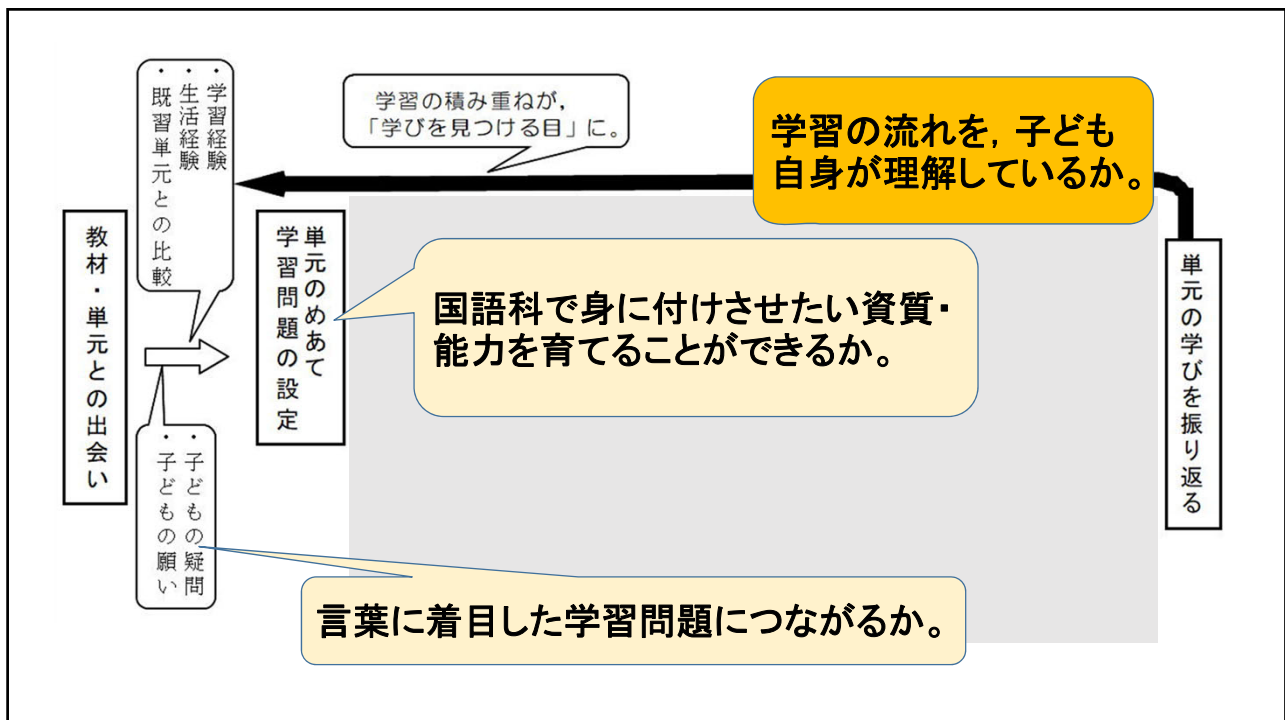
「小学校国語科の課題学習」藤井英子 著 より

課題学習は授業の構造を変える

一般に行われている授業・・・めあてを教師側がぽんと出す。

課題学習・・・学習範囲を読むと「なぜ」「どうして」と疑問や問題が生まれる。
それを基に教師と子どもとが話し合いをしながら教師が学習課題をまとめていく。

何をどこまで学習するのか一人一人の子どもたちが自覚すると、子どもたちは主体的になる。

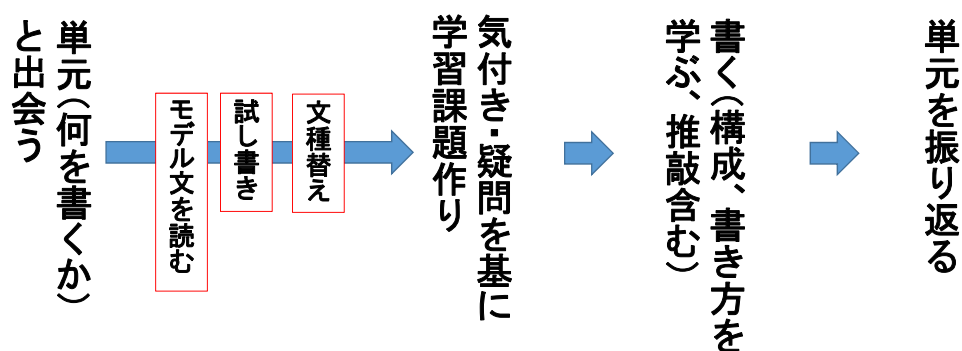


「書くこと」の単元の始まり、 どうしてですか？

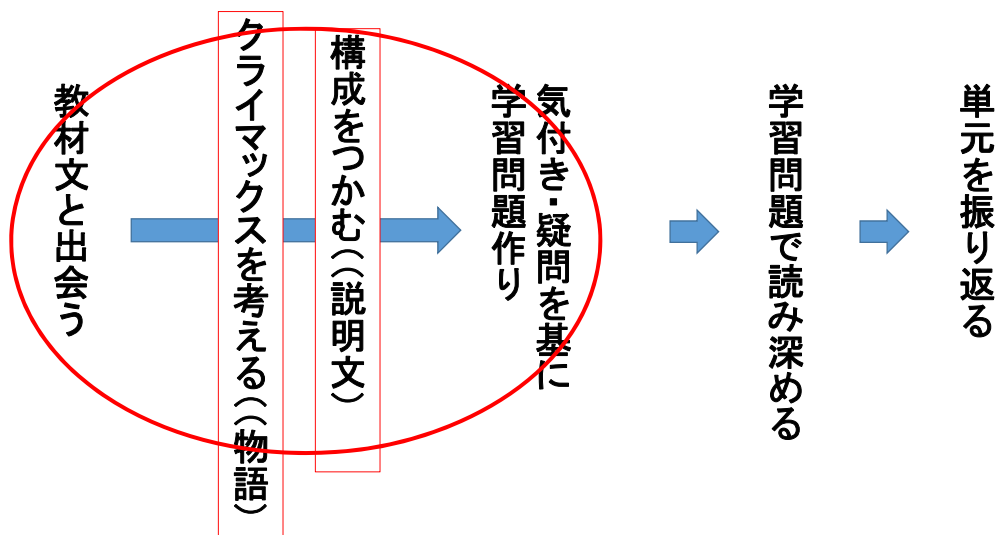
(1) 国語科の学びにつながる「問い」をもつ 力を育てる

- ① 領域や文種を意識して学びを積み重ねる

基本の学習の流れ(書くことの単元)



基本の学習の流れ(読むことの単元)



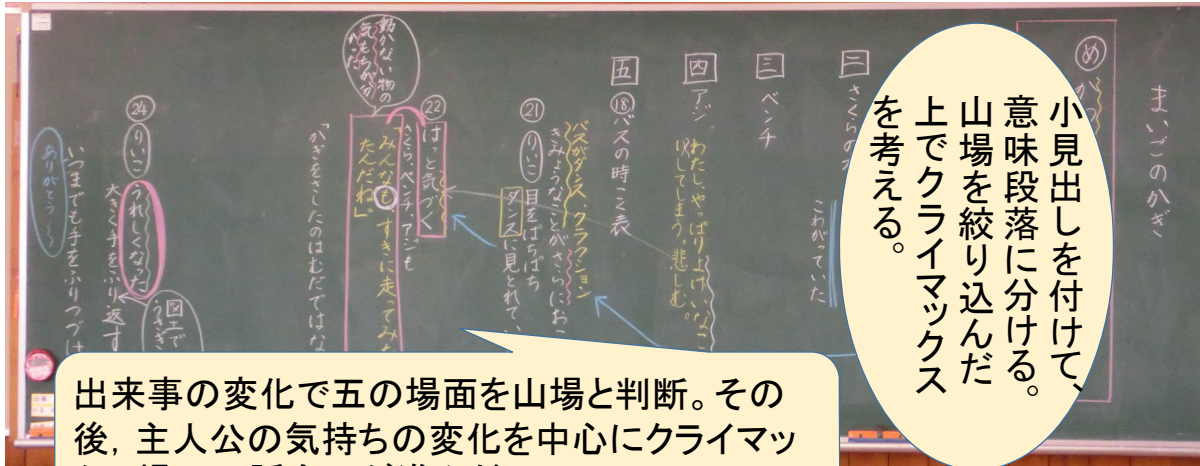
3年 読む視点の変化(初発の感想から)

(/30人)

	7月 「まいごのかぎ」	10月 「ちいちゃんのかげおくり」
主人公の 気持ち が一番変化した場面に着目	14人	23人
自分にとって印象深い場面 (単におもしろい、不思議、クライマックスとの関わりなし)	16人	7人

3年 文学的文章「まいごのかぎ」

① スモールステップでクライマックスをつかむ



出来事の変化で五の場面を山場と判断。その後、主人公の気持ちの変化を中心にクライマックス場面の話合いが進んだ。

小見出しを付けて、意味段落に分ける。山場を絞り込んだ上でクライマックスを考える。

② 「問い」を吟味する

主人公(中心人物)の言動に注目しよう。

自分で「学習問題」作りをする。

クライマックスの近くで、「普通だったらこんなことしないのに」と思うことを探してみよう。

グループで吟味する。

少し読めば答えが分かる「問い」ではないかな。

全体で吟味する。

読んでも答えが出ない「問い」ではないかな。

協働で学ぶ学習問題

A:じゃあ、「なぜ、何日も一人で家族を待っていたのか。」

B・C:ああ。(なるほど)

A:普通だったら、あきらめるから。

B:(ちいちゃんが亡くなった場面を指して)「わたしの命、消えちゃったのね。」と思うはずなのに、「体が軽くなったから空に浮いたのね。」と言ったのはなぜか。

C:え?死んじやったと思いたくないから?

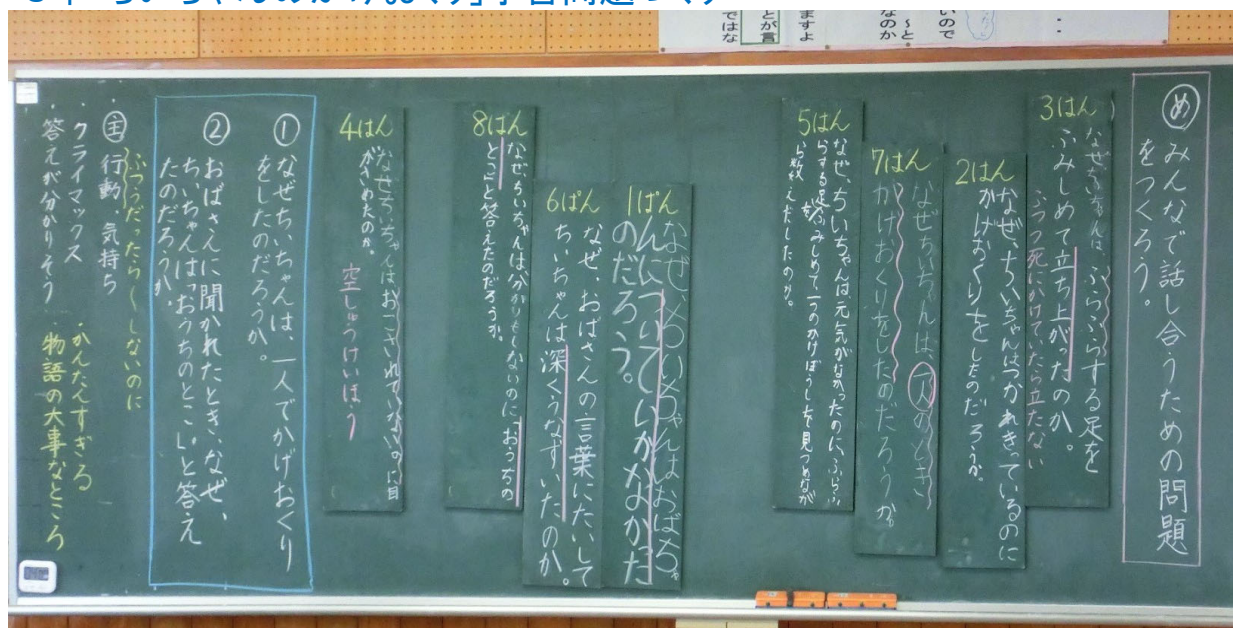
B:普通だったら「おなか为空いて軽くなった」とは言わない。

C:いや、ちょっといいかな。ちいちゃん、何歳ぐらいだと思ってる?

A:それは、まずいい!(今、関係ない)

C:はい、はい、はい。

3年「ちいちゃんのかげおくり」学習問題づくり



2 言葉に対する省察を促す「問い」

1年 説明的文章「どうぶつの赤ちゃん」



○系統性を意識して学びを積み重ねる

教材	構成
くちばし	「問い」「答え」→「問い」「答え」の繰り返し。
うみのかくれんぼ	「問い」「答え」「答え」「答え」 (全体に掛かる「問い」)
じどう車くらべ	「問い」が二つ。答えも対応。
どうぶつの赤ちゃん	「問い」が二つ。答えも対応。内容、順序が対応するように書かれている。

取組の成果

- 学びをつなげるためには、単元の導入部で、領域ごとの学び方の違いを意識させつつ学習経験を積むことが有効である。
- 国語の学習を進める「問い」を発する力を高めるためには、着目すべき言葉を吟味する場を設定することが有効である。

取組の課題

- 単元の柱となる大きな「問い」の解決に必要な小さな「問い」を見いだす力を育てる手立て
- 協働的な学びの中で「問い」を発する子どもの姿を引き出す手立て

【引用・参考文献】

- ・藤井英子(2019)「小学校国語科の課題学習」 明治図書
- ・読みの授業研究会(2016)「国語力をつける説明文・論説文の『読み』の授業 ―読む力を確かに育てるあたらしい指導法入門―」 明治図書
- ・読みの授業研究会(2018)「国語の授業で『深い学び』をどう実現していくか 『言葉による見方・考え方』の解明と教材研究の深化」 明治図書